



第23回岩手県障がい者
文化芸術祭 工芸部門
最優秀賞受賞
阿部 はるみさんの

『吊し飾り』

～新生園の玄関
ホールより～



発行元 社会福祉法人 新生会

〒028-1362

岩手県紫波郡矢巾町大字室岡一丁目二二五

TEL (029) 621-0242

FAX (029) 621-0252

《法人の理念》

「輝く命」

(創設者 藤原 清司)

体と心は病気になりますが、命は病気にならない。

気がついたら歩けない体に住んでいた。手が使えない体に住んでいた。

住んだ体はどうであれ、命はみな同じで、

生きることのスタートは命があるということからです。

よりよい状態で生き続けることこそが幸せと思います。

この人たちが、今日もまた生きることを楽しみ、飾りのない命を見せてくれます。

(日浦美智江著「みんな一緒に」から引用)

理事長新年挨拶

社会福祉法人 新生会

理事長

阿部 肇男



新年明けましておめでとうございませう。平成二十八年を迎えるに当たり、ご挨拶申し上げます。

新生会は、昭和五十八年に重度身体障害者授産施設「新生園」を開設して以来、障害者支援施設、医療型障害児入所施設（療養介護）といった入所施設や生活介護、就労移行支援、就労継続支援B型事業を中心とした多機能型の通所施設のほか、共同生活援助事業所（グループホーム）、相談支援事業所を設置し、障がいがある人が、施設や地域で安心して安全な生活ができるよう、関係各位の皆様と協働・連携し、福祉サービス供給主体としての役割を積極的に果たす

とともに、地域における福祉の充実、発展に努めてまいりました。

○昨年の取り組み

昨年は、法人が目指す将来のあるべき姿を示す「中長期経営計画」を策定いたしました。理念「輝く命」のもとに、「人権の尊重」、「四者一体での運営」、「倫理の確立」、「地域生活支援の活動強化」を基本方針とし、四つの重点課題を定めました。この計画は、平成二十七年から平成二十九年度までの第IV期中期経営計画と平成三十年以降、平成三十二年までを見据えて長期経営計画で構成しています。

主な内容としては、老朽施設の改築整備、財務状況の適正化と経営基盤の強化、人事考課・目標管理及び教育研修が一体となった人事制度の構築、利用者の高齢化・重度化・障がいの多様化の進展に伴う事業の充実、療養介護病床等の増床、就労センター化等事業の再編、グループホームの増設、基幹相談支援センター事業の実施等多岐にわたる計画になっており、初年度は課題ごとにワーキンググループを編成し、実現に向けて積

極的に取り組みました。

また、国においては、社会福祉法改正法案が国会に提出され、制度改革が進められています。法律案では、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組の責務等、社会福祉法人のあり方が大きく見直される内容となっております。この改正法案の概要を把握するとともに、課題ごとに現状を確認し、今後の対応等の取り組みを行いました。

○本年の重点課題

本年は、社会福祉法人を取り巻く状況の変化を踏まえた法人経営が求められています。

第一には、社会福祉法改正への対応です。制度改革の背景と社会福祉法人の役割を再認識し、利用者様、地域の皆様に信頼される法人となるよう事業を推進します。

そのためには、まず内部統制がきちんと行われているかの確認を行う必要があります。各種規程やマニュアル等が整備されているか、かつ規程どおりしっかりと運用されているかを点検し、不備があれば整備、改善いたします。同時に、

制度の動向を見据えながら評議員会・理事会等の機関の見直しを検討するとともに、地域貢献活動を積極的に取り組んでまいります。

第二には、中長期経営計画の着実な実行です。一年目の進捗状況を確認し、二年目の計画を進めてまいります。老朽化施設の改築整備を行い、相談支援センター等を併設した新たな多機能事業所の開設を目指します。また、平成二十九年以降の施設増改築整備や設備の更新、組織体制、給与制度のあり方等を検討し、経営基盤の強化を図ってまいります。

第三には、人材の定着と育成です。先輩職員からの技能の伝承、次世代のリーダー育成、日常業務を通じて行うOJTの徹底など、人事考課と教育研修を一体的に運用する仕組みを策定し実施します。

結びになりますが、本年が皆様にとって実り多き、希望に満ちた一年となりますよう心からご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



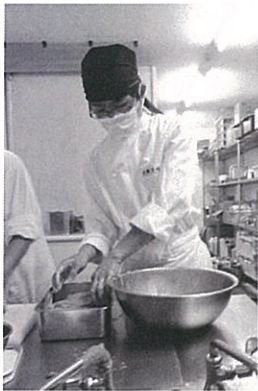
就労移行支援 事業の現場から

ワークセンターむろおか

施設長 佐々木 裕

就労担当 田中 ひとみ

「ワークセンターむろおかを選んだ良かった」事務職として就職したある利用者さんの言葉です。この方は、就職するためには専門学校を続けた方がいいのか、それとも福祉施設の就労移行支援事業に変えた方がいいのか非常に悩み、結果私どもを選んでくださいました。そして就職することができたのです。



<飲食店就職>



<事務職就職>



<クリーニング店就職>

就労移行支援事業は、二年間の利用契約です。お一人お一人の希望を叶えるため、個別支援計画を立て就職に向けて支援します。

期間前半は就職に向けた訓練を、企業からの受託作業やエコレストランあいでの接客作業、給食センターでの調理作業、その他パソコン作業、学習訓練、面接訓練、社会生活技能訓練（SST）などを実施していきます。

後半は施設外での作業、企業見学、企業訪問、職場実習を通して企業等とマッチングを図っていきます。

社会経験の少ない方々にとっては、特に職場実習は重要です。福祉的就労とは仕事に対する取組みが全く違いますので、多くの企業

を経験してもらいます。実習が長期になる場合もありますが、利用者ご本人はもちろん企業も理解が深まる利点もあり就職につながります。

就労移行支援事業を利用して就職した方々の数は、この五年間をみますと平成二十三年度は一名、二十五年度は二名、二十六年度は四名、そして今年度は三名で計十名となっております。

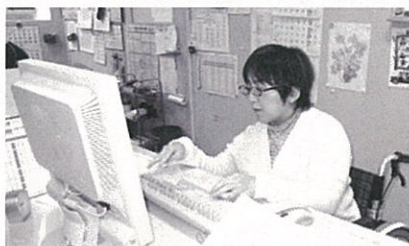
利用者ご本人の就職したいという強い想いとワークセンターむろおかの支援、そして社会的背景が相まって就職者が伸びております。

課題は仕事の継続です。継続できるように就職先への訪問体制やワークセンターむろおかの事業と市町村の単独事業を組み合わせさせてフォローする体制を確立していかなくてはなりません。

ご家族の支援が今まで以上に大切なことは言うまでもありません。就職者を多く出していることに高評価をいただいておりますので、今後も利用者さん個々に対応するプログラムを充実させ、一層就職活動を推進してまいります。



<職場での練習>



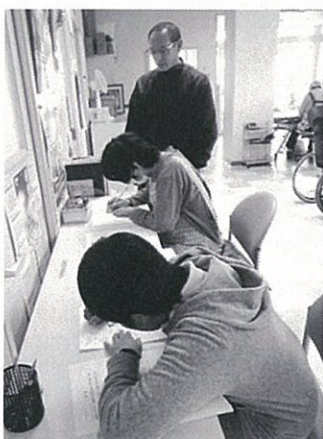
<パソコン練習>



<交通機関練習>



<面接練習>



<履歴書書き練習>

読売療育賞 敢闘賞受賞



身重心重症を認定した初め、小澤恵さん
で看護師として働いてきた
県内障害者支援の一環として東
京で開催されたものに参加させ
ていただきました。

読売療育賞敢闘賞を受賞して

みちのく療育園

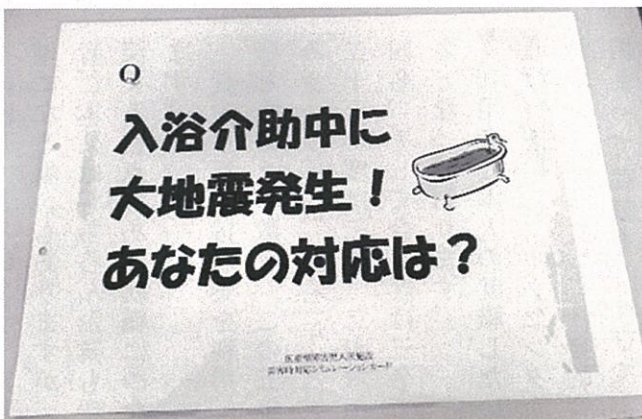
看護師 小澤 恵

去る十月に開催された第二十
六回重症心身障害療育学会にお
いて、第十一回読売療育賞敢闘賞を
受賞しました。これは、重症心身
障害者施設における実践研究を表
彰するもので、今回、みちのく療
育園からは「東日本大震災を体験
した施設での『始業前災害時シミ
ュレーションカード』の導入とそ
の評価」というテーマで発表しま

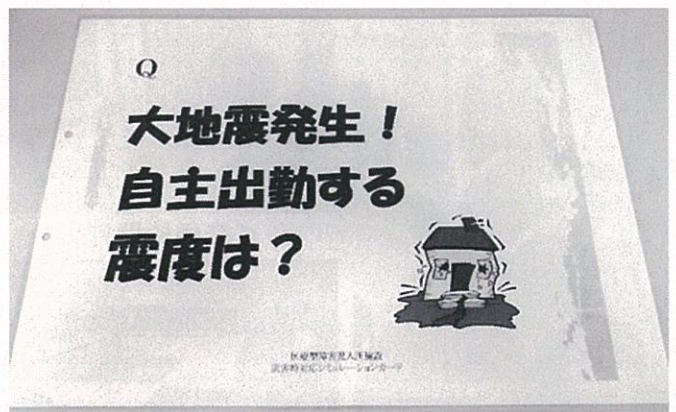
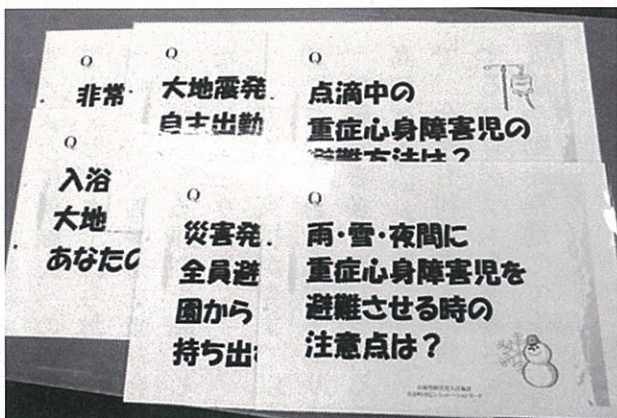
した。これは、重症心身障害看護
師（日本重症心身障害福祉協会に
よる認定）の育成研修において、
宮城・エコ療育園と福島・福島
整肢療育園の看護師と共に行われ
ました。この育成研修は、東日本
大震災の復興支援の一環として東
京都で開催されたものに参加させ
ていただきました。

研究の内容は、日勤始業前に
「災害時対応シミュレーションカ
ード」という図上訓練カードを用
いて、Q&A方式で職員をそれぞ
れ指名して答えてもらう、とい
うものです。このカードの導入前後
で職員の災害発生に対する意識と
防災知識の変化を比較しました。
結果として、カードの導入によ
り職員の意識・知識共に向上し教
育効果が認められました。しかし
カード導入前の調査では、過去に
東日本大震災を体験していても、
職員の意識・知識の維持と向上は
困難であり、継続的な教育が必要

であることがわかりました。カー
ドは始業前の数分で実施可能な内
容になっており、今後は職員の異
動時期である三〜四月に再度実施
しようと考えています。職員の意
識・知識の向上が、ひいては園の
利用者様方の安心と安全を支える
ことにつながっていくと思えます。
この受賞をきっかけに、認定看
護師としての仕事の幅を広げ、看
護師のみならず、同僚職員達に知
識の還元をしていけたら良いと考
えています。



カードは30枚以上、その一部をご紹介します



各施設だより

みちのく療育園



卒業式



クリスマス会
ガンライザーが来てくれました

第二新生園



すてきなパーティー
はばたき隊



すてきなパーティー
保護者会による余興

新生園



みちのく療育園の療法士による
訪問リハビリ



生活介護 調理実習

新生ホーム



遊生会
ボウリング大会

あさあけの園



矢巾町ふれあい広場
カラオケ大会

ワークセンターむろおか

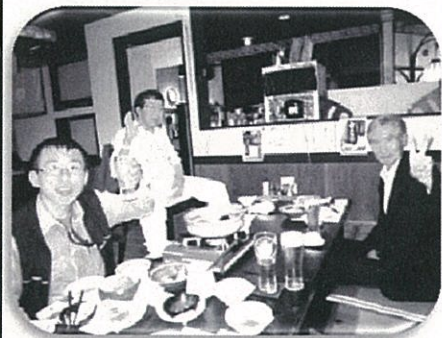


今年度から始まったスポーツ活動
運動不足も解消！！

しんせい



紫波町ふれあいフェスタにて



サークル活動
～夜のぶらり旅～

新生会 施設案内図



施設や広報についてのご意見・ご感想は
 法人本部事務局までお寄せください。
 発行 社会福祉法人 新生会
 〒028-3625 岩手県紫波郡矢巾町大字室岡12-125
 TEL (019) 611-0242
 FAX (019) 611-0252

| | |
|---|--------------------------------------|
| 社会福祉法人新生会 法人本部事務局 〒028-3625 岩手県紫波郡矢巾町大字室岡12-125 | TEL 019-611-0242 FAX 019-611-0252 |
| 障害者支援施設 新生園 〒028-3625 岩手県紫波郡矢巾町大字室岡12-125 | TEL 019-697-6831 FAX 019-697-8248 |
| 障害者支援施設 第二新生園 〒028-3617 岩手県紫波郡矢巾町大字太田17-54 | TEL 019-697-8011 FAX 019-697-8013 |
| 医療型障害児入所施設 みちのく療育園 〒028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山24-1 | TEL 019-611-0600 FAX 019-611-0601 |
| 多機能型施設 ワークセンターむろおか 〒028-3625 岩手県紫波郡矢巾町大字室岡12-124 | TEL 019-697-6856 FAX 019-611-1666 |
| エコレストラン あいのの 〒028-3605 岩手県紫波郡矢巾町大字間野々12-50 | TEL 019-681-0304 FAX 019-681-0306 |
| 就労継続支援B型事業所 あさあけの園 〒028-3614 岩手県紫波郡矢巾町大字又兵工新田6-17-2 | TEL 019-697-6537 FAX 019-658-8538 |
| 相談支援事業所 障害者地域生活支援センターしんせい 〒028-3625 岩手県紫波郡矢巾町大字室岡12-70-9 | TEL 019-697-3300 FAX 019-697-3300 |
| 共同生活援助事業所 新生ホーム 〒028-3625 岩手県紫波郡矢巾町大字室岡12-70-9 | TEL 019-611-1199 FAX 019-611-1199 |